

1. 件名：高速増殖原型炉もんじゅの廃止措置計画変更認可申請に係る面談

2. 日時：令和2年2月3日(月)17時00分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部 審査グループ 研究炉等審査部門

田中主任安全審査官、有吉主任技術研究調査官、小舞管理官補佐、堀内安全審査官、  
内海研開炉係長、佐々木技術参与

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

敦賀廃止措置実証本部 副本部長 他3名

5. 要旨

○原子力機構から、前回の面談から引き続き、審査中の廃止措置計画変更認可申請（模擬燃料体の部分装荷）における部分装荷時における影響評価について、資料を用いて案の説明を受けた。

○原子力規制庁より、以下の通り伝えた。

（資料2について）

- ・前回の面談におけるコメントは概ね反映したものであるが、機構がこの申請を行う目的や、安全性に対する考え方について、資料の前段に概要資料を付けること。
- ・今回の資料では全てが示されていないが、前回の監視チーム会合における指摘に対する回答については、全ての指摘に対して回答したことを明確にするとともに、回答内容については、資料2のどのページを見れば概要が分かるのか明確にすること。

○原子力機構から、承知した旨返答があった。

6. その他

資料1：燃料体の跳び上がり量評価に関する試験による確認（改正2）

資料2：「もんじゅ」廃止措置計画の変更内容（模擬燃料体の部分装荷）

資料3：コメントNo.16に対する回答